

家庭学習の手引き（保護者用）

家庭学習は、学校で学習したことをしっかり身に付けるために、また、自ら学ぶ習慣を身に付けるためにとても大切なものです。

小学校のうちは机（テーブル）に向かう習慣が後々の家庭学習に大きな影響を与えます。今のうちに身に付けさせましょう。

1 家庭学習のさせ方

- ① 担任からでる「宿題」を最初にさせてください。
- ② 時間が余ったら、「家庭学習の手引き」の中から選んでさせて下さい。
（５・６年生は自分で考えさせてもいいでしょう。）
- ③ どうしても勉強にあきてしまうときは、読書やお絵かきでも何でも構いませんので、必ず机に向かわせて下さい。「机に向かう」という習慣が大事です。
- ④ 勉強が終わったら、次の日の準備をさせて下さい。

2 時間のめやす

学年×１５分をめやすに学習しましょう。

- | | | |
|-------|-----------|-----------|
| ・ 低学年 | １年生…１５分以上 | ２年生…３０分以上 |
| ・ 中学年 | ３年生…４５分以上 | ４年生…６０分以上 |
| ・ 高学年 | ５年生…７５分以上 | ６年生…９０分以上 |

3 家庭学習における保護者の役割

① 学習時間の確保

塾、習いごと、スポーツなど、子どもたちもいろいろと忙しいと思いますが、短い時間でも、「必ず机に向かう」習慣を身に付けさせましょう。「何時から何時まで勉強する」ということを、家庭でよく話し合って、無理のないように時間設定をして下さい。

② 学ぶための環境づくり

例えば、テレビをつけながら勉強をしても、効果は上がりません。お子さんが落ち着いた学習環境で学習できるように、各家庭で工夫したり話し合ったりして下さい。

③ 見届け・励まし

子どもが学習したことにできるだけ目を通し、声をかける。褒めたり励ましたりしてやることで、お子さんはどんどんやる気を出します。コメントを書いてあげたり、スタンプを押してあげたりするのも効果的です。また、お子さんの様子を把握しながら、できるだけいっしょに取り組んでくださるようお願いいたします。

④ 学校との連携

お子さんの学習のことで、お気づきのことがあれば、担任にお知らせ下さい。